

パネルセッション—質疑応答—

第1部 [13:00 ~ 13:30 (30分)]

第1会場

①…p.26

共生社会のための日本語教育

稲垣みどり (山梨学院大学)
 金泰明 (大阪経済法科大学)
 細川英雄 (言語文化教育研究所)
 杉本篤史 (東京国際大学)

第2会場

②

当該発表は、発表者の都合により辞退となりました。

第2部 [13:40 ~ 14:10 (30分)]

第1会場

③…p.36

同僚性を生むもの、同僚性が生むもの—日本語教師の自発的な学習のための、三つの集まりから考える—

有田佳代子 (新潟大学)
 村上吉文 (国際交流基金)
 中村妙子 (フリーランス)
 牛窪隆太 (東洋大学)

第2会場

④…p.46

SDGs × 日本語教育—持続可能な社会の実現に向けた日本語教育の役割とは—

毛利貴美 (岡山大学)
 古川智樹 (関西大学)
 寅丸真澄 (早稲田大学)
 中井好男 (同志社大学)

第3部 [14:20 ~ 14:50 (30分)]

第1会場

⑤…p.56

デジタルリソースのキュレーションを考える—事例と視点の共有を目指して—

山田智久 (北海道大学)
 北村祐人 (文化庁)
 伊藤秀明 (筑波大学)
 熊野七絵 (国際交流基金)

口頭発表—質疑応答—

午前の部 [9:30 ~ 12:20 (各 20 分)]

第 1 会場

司会：

【①～③】ボイクマン総子（東京大学）

【④～⑥】木下直子（早稲田大学）

9:30 ~ 9:50	①…p.67 文脈の中の個人の視点からみた遠隔言語学習の 動機づけ—あるオンラインの日本語学習者のケース スタディー— 陳静怡（大阪大学大学院生）
10:00 ~ 10:20	②…p.73 透明度要因とL2 習熟度要因が慣用句の意味推 測に与える影響—身体部位詞を含む慣用句を例とし て— 王雪瑶（お茶の水女子大学大学院生）
10:30 ~ 10:50	③…p.79 意見述ベタスクと物語タスクが中国人日本語学 習者の独話に与える影響—流暢さ、複雑さ、正確さ、 語彙の豊富さを用いた分析— 金銀姫（神田外語大学大学院生）
11:00 ~ 11:20	④…p.85 モンゴル語を母語とする日本語学習者における長 音の知覚について 劉永亮（東京都立大学）
11:30 ~ 11:50	⑤…p.91 連体修飾節における日本語と韓国語のアスペク ト形式の対応関係 李在鉉（広島大学）
12:00 ~ 12:20	⑥…p.97 中学校地理の教科書における述語形式と記述の 内容—内容理解の支援のために— 宮部真由美（国立国語研究所）

下記に記載のページ番号は予稿集（電子版）の該当ページを示しています。

第2会場

司会：
【⑦～⑨】服部明子（三重大学）
【⑩～⑫】伊藤秀明（筑波大学）

- 9:30 ~ 9:50
⑦…p.103
コーパス分析システムの公開と日本語教育・日本語研究への活用
山本裕子（愛知淑徳大学），本間妙（同）
川村よし子（東京国際大学），小森早江子（中部大学）
- 10:00 ~ 10:20
⑧…p.109
ライティング指導不安尺度開発の試み
布施悠子（国立国語研究所）
- 10:30 ~ 10:50
⑨…p.115
中国における大学日本語教師の成長ニーズ研究
成利楽（広島大学大学院生）
- 11:00 ~ 11:20
⑩…p.121
日本語教師の「熟達過程」について考える—教室活動における「問題解決能力」という視点から—
足立祐子（新潟大学），松岡洋子（岩手大学）
林さと子（元・津田塾大学），富谷玲子（神奈川大学）
宇佐美洋（東京大学），安場淳（中国帰国者支援・交流センター）
今村和宏（一橋大学）
- 11:30 ~ 11:50
⑪…p.126
上級日本語学習者による随筆テキストの読み—L2再生プロトコルの分析から—
山方純子（神田外語大学）
李榮（同）
- 12:00 ~ 12:20
⑫…p.132
JFT-Basic 受験者は CBT 形式での受験をどう捉えたか
八嶋康裕（国際交流基金），熊野七絵（同）
千葉朋美（同），廣利正代（同）

第3会場

司会：
【⑬～⑮】西谷まり（一橋大学）
【⑯～⑰】嶋田和子（アクラス日本語教育研究所）

- ⑬…p.138
システムズアプローチのコミュニケーション分析への応用可能性—日本人大学生集団を事例とした検討—
荒井美咲（東北大学大学院生）
- ⑭…p.144
多読読み物に対する日本語学習者の評価—日本語レベルの低い読み物はつまらないのか—
吉川達（佐賀大学）
- ⑮…p.150
「地域学習」の視点を取り入れた国際共修の授業デザイン—活動理論に基づく—考察—
藤美帆（広島修道大学）
- ⑯…p.156
日本語教育人材としての日本語学習支援者の役割に関する—考察—地域日本語教室ボランティアへのインタビューを基に—
本廣田鶴子（大阪大学研究生）
- ⑰…p.161
友人関係を築くための会話教育の提案—関係深化にフォーカスした授業実践から—
田中真衣（大阪大学），吉兼奈津子（神戸学院大学）
今田恵美（立命館大学），高井美穂（大阪大学）
- ⑱…p.167
遠隔交流による学習者のコミュニケーション能力の変化—コミュニケーション・ストラテジーの考察か—
徐曉娟（東亜大学学生）

口頭発表—質疑応答—

午後の部 [13:40 ~ 16:00 (各 20 分)]

第 1 会場

司会：

【⑱～㉑】水野晴美（国際日本語普及協会）

【㉒・㉓】浜田麻里（京都教育大学）

13:40 ~ 14:00	<p>⑱…p.174 対人的ムードと対事的ムードの noda と gos-ita の意味の分布の幅</p> <p>楊熙東（明海大学大学院生）</p>
14:10 ~ 14:30	<p>⑳…p.180 地域における日本語教育人材の整理—日本語教育以外の専門性を持つ日本語教育人材の検討—</p> <p>千葉月香（東海日本語ネットワーク） 米勢治子（同）</p>
14:40 ~ 15:00	<p>㉑…p.186 戦前の台湾の日本語教授法の変遷—大正期の転換と 50 年間の継続性に注目して—</p> <p>赤木奈央（慶應義塾大学）</p>
15:10 ~ 15:30	<p>㉒…p.192 戦時下の日本語普及におけるタイと台湾の関係—『台湾日日新報』を中心に—</p> <p>山口雅代（東京福祉大学）</p>
15:40 ~ 16:00	<p>㉓…p.198 漢字圏 JSL 児童への漢字学習スキヤフオールディングに関する—提案—北京・台北調査をもとに—</p> <p>柳瀬千恵美（九州大学）</p>

下記に記載のページ番号は予稿集（電子版）の該当ページを示しています。

第2会場

第3会場

司会：

【24～26】西口光一（大阪大学）

【27・28】牛窪隆太（東洋大学）

司会：

【29】齋藤伸子（桜美林大学）

②4…p.203

日本人大学生が書いたナラティブ作文の評価—日本語ナラティブ作文用の評価項目を用いて—

坪根由香里（大阪観光大学）、数野恵理（立教大学）
トンプソン美恵子（山梨学院大学）
影山陽子（昭和音楽大学）

②5…p.209

図解作成を取り入れた読解過程に見られる読解ストラテジー—3名の中級日本語学習者の完成図解と要約文の比較から—

エルサイド祐子（日本大学）

②6…p.215

接触場面における漢字を用いた修復連鎖のマルチモーダル分析—日本語母語話者医師と中国語母語話者模擬患者の模擬医療面接から—

加藤林太郎（国際医療福祉大学）

②7…p.221

日本語教育における社会的転回の再考—言語・文化的マイノリティによる対話をもとに—

中井好男（同志社大学）
丸田健太郎（広島大学大学院生）

②8…p.226

留学生は学術的文章の引用箇所をどのように判断しているか

向井留実子（東京大学）、中村かおり（拓殖大学）
近藤裕子（山梨学院大学）

②9…p.232

反転授業におけるグループワーク再考—話し合いの中の個人的活動と共同的活動—

手塚まゆ子（関西学院大学大学院生）

ポスター発表—質疑応答—

午前部 [9:40 ~ 12:25 (各 25 分)]

第 1 会場

- | | |
|---------------|---|
| 9:40 ~ 10:05 | <p>①…p.239
 学習者と教師による対話的授業評価—学習者参加型実践研究をめざして—
 広瀬和佳子 (神田外語大学)</p> |
| 10:15 ~ 10:40 | <p>②…p.245
 ポストコロナ時代の学習者オートノミー育成—セルフアクセスセンターの再考—
 瀬井陽子 (大阪大学)</p> |
| 10:50 ~ 11:15 | <p>③…p.249
 適切な語の使用のために指導すべき点とは—タイ人日本語学習者の作文の誤用分析から—
 三好裕子 (チュラロンコン大学)</p> |
| 11:25 ~ 11:50 | <p>④…p.255
 大学生は「やさしい日本語」講義をどう受けとめたか—受講後の自由回答アンケート結果の分析から—
 長谷川頼子 (敬愛大学)
 井上里鶴 (つくばにほんごサポート)</p> |
| 12:00 ~ 12:25 | <p>⑤…p.261
 実践報告「やさしい日本語プロジェクト」—社会参加を目指した授業で見えてきたこと—
 苅谷太佳子 (愛知県立大学)</p> |

下記に記載のページ番号は予稿集（電子版）の該当ページを示しています。

第2会場

9:40 ~ 10:05	<p>⑥…p.267 中国語を母語とする日本語学習者の聴覚呈示における文記憶の分散効果—中国国内の中級日本語学習者を対象として—</p> <p>常笑（広島大学大学院生）</p>
10:15 ~ 10:40	<p>⑦…p.273 読解におけるメタ認知の活用に関する事例研究—学生Aの面接調査から—</p> <p>藤田裕子（桜美林大学）、福島智子（同） 白頭宏美（同）、伊古田絵里（同）</p>
10:50 ~ 11:15	<p>⑧…p.279 留学生のピア・レスポンス談話における配慮表現の使用とその変化</p> <p>烏日哲（国立国語研究所） 井伊菜穂子（一橋大学大学院生）</p>
11:25 ~ 11:50	<p>⑨…p.285 日本語オノマトペの基本語彙選定と分類—語彙教材の頻度分析の場合—</p> <p>福留奈美（東京聖栄大学）</p>
12:00 ~ 12:25	<p>⑩…p.289 マルチデバイスで学べるWeb版日本語学習システムの開発—Dig学習システムを活用して—</p> <p>楊達（早稲田大学） 沈佳琦（大海語言学院）</p>

第3会場

11:00 ~ 11:25	<p>⑪…p.295 元留学生外国人社員の就業継続の要因—SCAT法による分析から—</p> <p>高橋桂子（武蔵野大学） 堀井恵子（元・武蔵野大学）</p>
11:30 ~ 11:55	<p>⑫…p.301 支援者への支援を目的とした、介護の専門日本語学習支援情報サイト</p> <p>中川健司（横浜国立大学）、角南北斗（フリーランス） 齊藤真美（フリーランス）、布尾勝一郎（佐賀大学） 橋本洋輔（国際教養大学）</p>
12:00 ~ 12:25	<p>⑬…p.306 言葉の壁を乗り越えて繋がる多様性と自己確立の可能性—多言語・多文化化する小学校における「子どもパネルディスカッション」の追跡調査—</p> <p>橋本ゆかり（横浜国立大学） 窪津宏美（東京学芸大学大学院連合学校（横浜国立大学配置）大学院生）</p>
12:30 ~ 12:55	<p>⑭…p.311 年少者日本語教育は何を研究課題としてきたか？—過去40年間のRQからその先を見通す—</p> <p>本間祥子（日本大学） 南浦涼介（東京学芸大学）</p>
13:00 ~ 13:25	<p>⑮…p.317 日本語教師の「実践者」としての成長過程—「固有の実践」を志すに至ったある日本語教師に対するインタビュー結果より—</p> <p>犬飼康弘（ひろしま国際センター）</p>

下記に記載のページ番号は予稿集（電子版）の該当ページを示しています。

ポスター発表—質疑応答—

午後部 [13:50 ~ 16:00 (各 25 分)]

第 1 会場

- | | |
|---------------|--|
| 13:50 ~ 14:15 | <p>⑩…p.324
 多様な人とまちのことばを経験しつくる過程—食品ロス削減への取り組みを通して—
 佐野香織 (長崎国際大学)</p> |
| 14:25 ~ 14:50 | <p>⑪…p.329
 日本の職場における中国人元留学生社員の異文化間コンフリクトとその解決方略
 安部陽子 (九州大学大学院生)</p> |
| 15:00 ~ 15:25 | <p>⑫…p.333
 外国人材受け入れ主体である地域住民の当事者意識を育てる試み—「ちっぷ100人サミット」を通して—
 式部絢子 (北海道大学),
 込宮麻紀子 (早稲田大学大学院生)
 館岡洋子 (早稲田大学)</p> |
| 15:35 ~ 16:00 | <p>⑬…p.337
 外国人留学生の就職決定への過程—TEA を用いたライフストーリーの分析から—
 前田真弥 (神戸東洋日本語学院)</p> |

下記に記載のページ番号は予稿集（電子版）の該当ページを示しています。

第2会場

⑳…p.343
13:50 ~ 14:15 初級から学べる段階別学習型作文支援システムの構築—データ収集システムの開発—

金蘭美（横浜国立大学）
川村よし子（東京国際大学）
金庭久美子（立教大学）

㉑…p.348
14:25 ~ 14:50 コロナ禍による授業のオンライン化に対する日本語教師の取り組み—オンライン授業の実践に関する教師へのアンケートから—

藤本かおる（武蔵野大学）

㉒…p.354
15:00 ~ 15:25 eラーニングの受講場面から見られる受講者のマルチモーダルな行為に関する研究

柳東汶（早稲田大学大学院生）

㉓ p.358
15:35 ~ 16:00 e-learning 教材 “BUNGO-bun GO!” を利用した文語文教育

佐藤勢紀子（東北大学）
虫明美喜（宮城教育大学）
角南北斗（フリーランス）

第3会場

㉔…p.364
タイの日系企業で働く元交換留学生の留学評価—留学期間による比較—

八若壽美子（茨城大学）

㉕

当該発表は、発表者の都合により辞退となりました。

㉖…p.372

日本語教師の発話に見られる副詞「ちょっと」の考察

藤田裕一郎（朝日大学）
立部文崇（徳山大学）

㉗…p.378

模擬授業の準備はどのように進められるか—話し合いの縦断的分析からみたグループワークの展開構造—

張曦冉（一橋大学大学院生）